



のりお通信

青葉区選管の票水増し問題

皆様お元気でしょうか。私の市政報告をお読みいただきありがとうございます。

さて、昨年12月14日に行われた衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査の開票において、信じられないことが起きました。青葉区選挙管理委員会の職員が票の水増し操作を行い、隠ぺい工作をしていたことが、昨年末から本年1月にかけて次々に明らかになりました。

選挙管理委員会という正当性を担保すべき立場の人間が行った、今回の一連の行為はまさしく犯罪行為であり、選挙への信用失墜行為です。

「のりお通信11月号」でご報告したとおり、私は、昨年議会で、隠ぺいされていた青葉区役所の不祥事を指摘し、コンプライアンスの強化を求めていただけに、このような事態が生じたことに憤りを禁じえません。

今後、強制捜査や責任問題など、様々な展開が考えられますが、私としては、これまで同様に市政の問題を^{ただ}糺し職責を全うしてまいります。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

奥山市長 条例案を撤回！

奥山市長は第1回定例会で、市長の看板政策の一つである「協働によるまちづくりの推進に関する条例」案を議会最終日の3月6日に取り下げました。

私は、この条例の原案の段階から市民教育委員会において、問題点を指摘し、見直しを求めてきましたが、残念ながら改善されないまま、条例案が第1回定例会に提案されました。

このため、本会議や委員会で数々の問題を追及し、2月18日の市民教育委員会において全会一致で継続審査としました。

その後、議会として修正案の取りまとめに着手したところ、突然、市長から条例案を撤回する方針が示されました。

市長は、内容を精査し、改めて6月議会に提案したいとしていますが、当局の今後の対応を重大な関心をもって注視してまいります。

事件の経過

- 12月14日 衆議院議員総選挙と最高裁判所国民審査の開票作業で白票の水増し操作などが行われる
- 12月17日 マスコミの指摘を受け、市選管が区選管に調査を指示
- 12月25日 小選挙区選挙において白票水増し操作が行われた旨を区選管事務局長が市選管に報告
- 12月26日 記者発表(小選挙区の二重集計及び白票水増し操作)
- 1月 3日 国民審査について票操作が明らかになる
- 1月 6日 国民審査について記者発表(二重集計及び票操作)
- 1月 8日 議員協議会の開催
- 1月13日 区選管事務局長の虚偽説明が判明
- 1月16日 区選管事務局長ら3人を更迭
記者発表(区選管事務局長の虚偽説明及び第三者委員会の設置)
- 1月19日 市長が容疑者不詳のまま刑事告発
- 1月20日 議員協議会の開催
- 2月 2日 記者発表(過去10年間に執行された選挙の調査結果)
- 2月 4日 第1回第三者委員会の開催
- 2月25日 「選挙管理委員会の不適切事務等に関する調査特別委員会」(以下、「調査特別委員会」という。)の開催
- 2月26日 第2回第三者委員会の開催
- 3月 2日 調査特別委員会の開催
- 3月 9日 第3回第三者委員会の開催
- 3月12日 調査特別委員会の開催

◇斎藤のりおプロフィール◇

昭和29年8月生まれ
古川高校・北海道大学経済学部卒業
その後、宮城県職員となる
平成15年 仙台市議会議員初当選
(現在3期目)
仙台市議会において
○市民教育常任委員
○東西線・まちづくり促進調査
特別委員会委員長
○会派「自由民主党・仙台」会長
自由民主党泉区支部長